

林のようすとタンポポの関係

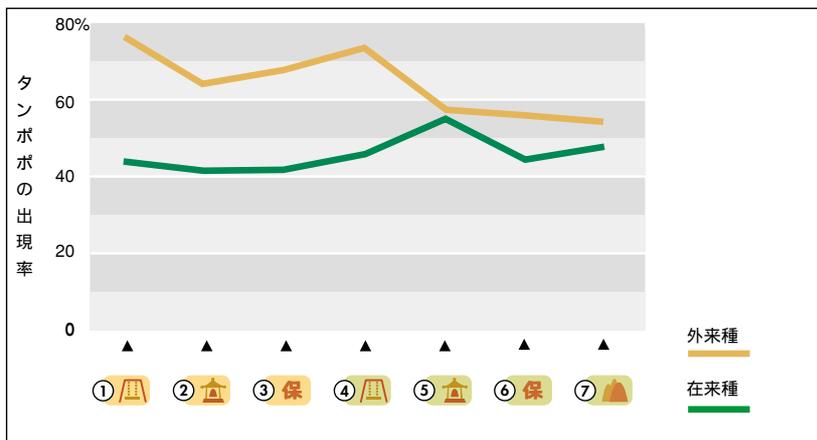
林のタイプ別に、タンポポ類の出現状況を見ると、都市的な環境の林ほど外来種の勢力が大きいという結果になりました。しかし、市街地・住宅地の公園林でも在来種が4割程度見つかりました。これは、路傍や空き地のような人為的な変化の大きい環境に比べると、林のまわりには安定した環境が保たれてきたことの現れといえるでしょう。

また、林の面積との関係を見ると、面積が大きいほど在来種の出現率が高い結果になりました。これは、広い林ほど、

過去に土地利用の著しい変化がなかったことを示していると考えられます。外来種では、ある程度広い林になると逆に出現率が減少しました。

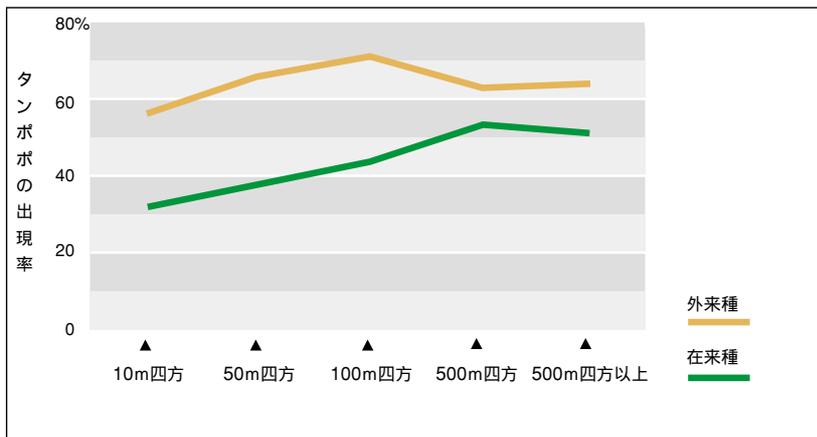
林の地面のようすで集計してみると、特に落ち葉がなくむき出しで固い地面の土では、在来種は明らかに出現率が減少するのに、外来種は増加していました。固い土の例数が少ない(172件)ので、はっきりしたことはいえませんが、強い踏みつけなどのある環境が在来種にとっては都合が悪いことを示している可能性があります。

林のタイプ別にみたタンポポの状況

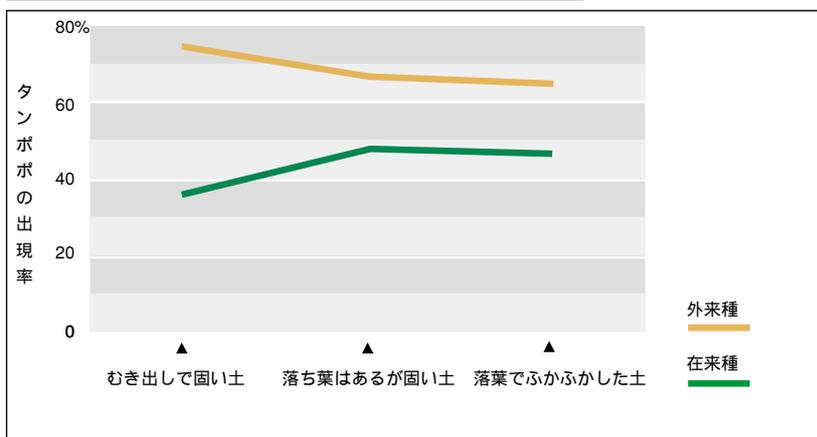


- ① 市街地・住宅地の公園林
- ② 市街地・住宅地の屋敷林・社寺林
- ③ 市街地・住宅地の保存緑地・斜面林
- ④ 農村の公園林
- ⑤ 農村の屋敷林・社寺林
- ⑥ 農村の保存緑地・斜面林
- ⑦ 農村の山地林

林の面積別にみたタンポポの状況



林の地面のようす別にみたタンポポの状況



注) 在来種: シロバナタンポポ・在来タンポポ
外来種: セイヨウタンポポ・アカミタンポポ